

東建 女子学生向け見学会を開催

2024/3/1 東京版 掲載記事より

東京建設業協会（今井雅則会長）は2月28日、女子学生を対象にした建築現場見学会と女性若手技術者との勉強会を開いた＝写真。都内の大学から参加した12人を都営住宅と民間賃貸住宅の現場に案内するとともに、第一線で活躍する女性技術者を交えたランチミーティングを実施。建設業の魅力や将来の働き方をイメージしながら、建築に興味を持つ世代同士の交流を深めてもらった。

当日はまず、足立区内で工事が進む都営住宅現場を見学。施工を手掛ける第一ヒューテック（新宿区）が工事概要やDXによる業務効率化の取り組みなどについて説明した。

一方、民間賃貸住宅の現場は中央区内にあり、日本建設（港区）が設計・施工を担当。環境省の「高層ZEH—M支援事業」に採択され、「ZEH—M Oriented」の基準を達成するなど、環境に配慮した物件の特徴を紹介した。

移動の合間に築地本願寺（中央区）でのランチミーティングを用意。第一ヒューテックと日本建設から3人の女性技術者が同席し、それぞれ技術者を目指した動機やこれまでのキャリア、将来のライフプランなどを披露した。女子学生からは、「今の会社を選んだ決め手」や「仕事で大変なこと、楽しかったこと」、「結婚・出産後の働き方」などについて質問が上がり、活発に意見を交わした。

「初めて足場に上がった」と語る女子学生もいて、新しい建物が造られるようすと築地本願寺という歴史的建築物の両方を実際に目にすることで、建設業の魅力を体感していたようだった。

